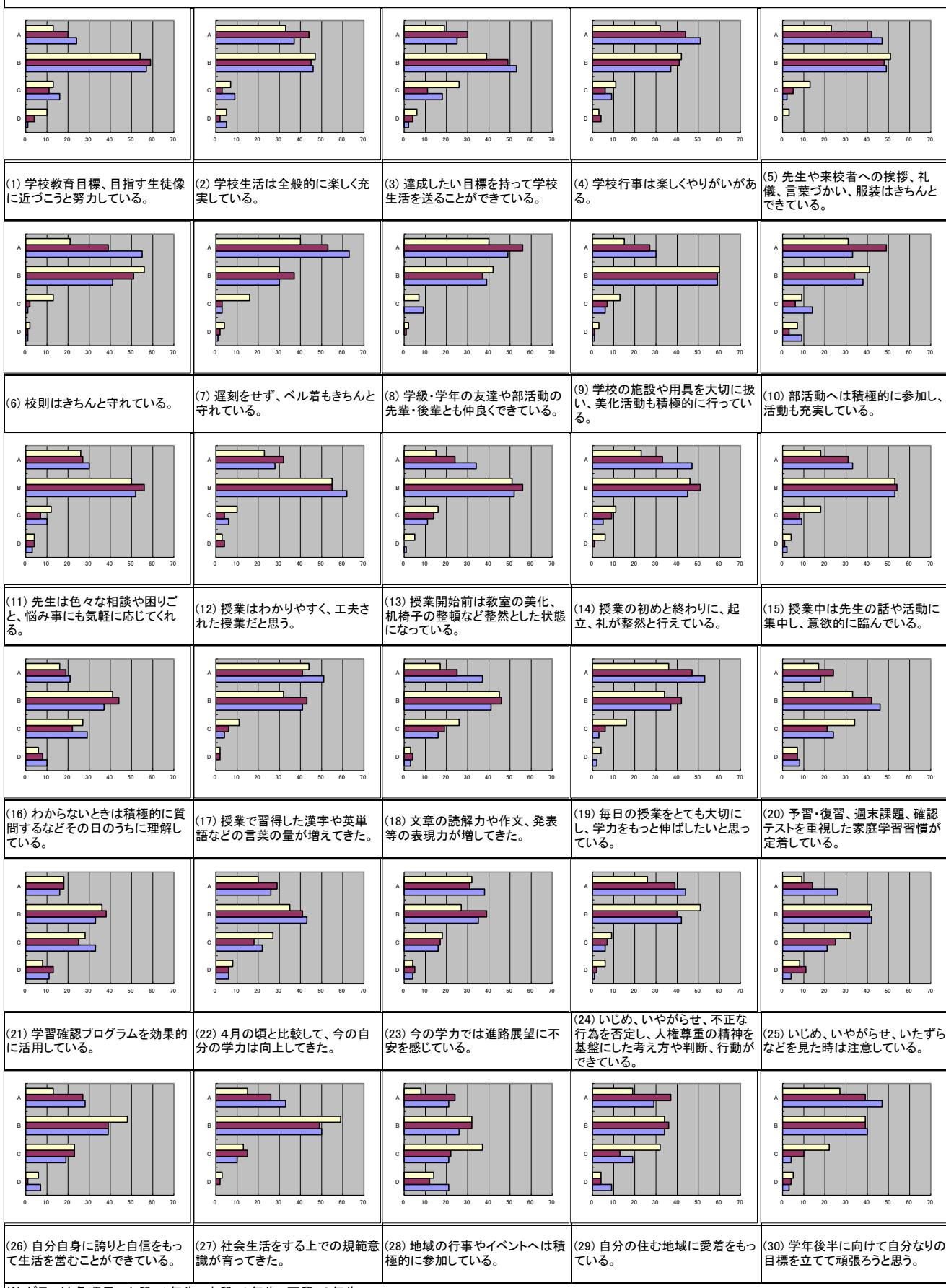


# 平成29年度 ≪生徒によるアンケート結果 : 前期 ≫



※ グラフは各項目、上段: 1年生、中段: 2年生、下段: 3年生。

生徒アンケートにおいては全体的傾向として、昨年度同期と比較して、若干はあるがB評価が減り、C評価が増えた点が気になるところである。特に1年生にその傾向が現れていると思われる。

設問(4),(6),(7),(8),(17),(19),(30)ではA評価が多く、授業や学校行事、部活動に積極的に取り組もうとしていることがうかがえる。

設問(17),(18)では、日々の授業の反復により昨年同様、習得した漢字や英単語などの言葉の量が増えており、文章の読解力や作文、発表等の表現力が増してきている。言語力の向上を目指した取組の成果が現れつつあるものと思われる。今後、さらに取組を進めたいと思う。設問(16),(20)については、依然C評価が多く、日常の学習に取り組む姿勢や家庭学習の習慣化のさらなる取組の必要性を示しているものと考える。

また設問(24)では、A, B評価がC, D評価を大きく上回っているにもかかわらず、設問(25)ではC, D評価が多くなっており、いじめいやがらせを自分はしないが、それを見たときに注意するまでにはいたっていないことを示している。例年同じような傾向が続いているが、今後より積極的に取り組めるよう人権意識や規範意識の高揚を図っていかたいと考えている。

設問(28)でも、C, D評価が多くなっていることと、(29)では1年生のC評価が多いのが気になった。今後も地域の行事への積極的な参加を促すとともに、地域を大切にする心を育てる取組を進めたい。